

関西美容専門学校

2018年4月 ~ 2019年3月
自己評価結果報告書

| 評価点数定義 | |
|--------|-------|
| 4 | 適切 |
| 3 | ほぼ適切 |
| 2 | やや不適切 |
| 1 | 不適切 |

1. 教育理念・目標

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|---|-----------------------------|----|---|--|
| 1 | 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか | 4 | 学園理念である「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」を体現すべく、「人間力」「基本力」「創造力」「感動力」をコンセプトとし、カリキュラム・授業内容を組み立てている。 | 昨年度で課題であった他校の同質化に対して、東京・海外への就職支援を前提とした入試や業界で問題になっている離職率の改善を目的とした取り組みを開始した。ただ昨年同様、過去に本校唯一だった物が他校の同質化により、形の上で特色と見えなくなっている事が引き続き課題と思われる。新たな取り組みのブラシアップや、さらに新たな取り組みを生み出し続ける事を改善案とする。 |
| 2 | 学校における職業教育の特色は何か | 4 | 特色としては、日本美容界の巨匠である川島文夫氏を顧問とし、基礎基本を土台とした現場に即したカット技術を取り入れ「カットの関美」と呼ばれる学校になる等、選ばれる学校づくりを行っている。 | |
| 3 | 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱えているか | 3 | 将来構想としては、少子高齢化、美容室の増加と美容学生の減少からくる雇用難を踏まえ、国家資格取得に必要な技術は基本として、常に現場で求められる技術、心を学生に教育、就職のサポートができるよう、全国の企業・サロンと連携し変化し続ける学校であり続けようとしている。 | |

2. 学校運営

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|---|---------------------------------|----|---|---|
| 1 | 目的に沿った運営方針が策定されているか | 4 | 運営方針・事業計画は校長がこれを作成し、全体会議等で周知徹底している。学校運営組織は、校長をトップに副校長、教務部がこれを補佐する形で運営されている。人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。 | 教育活動に関することについては、本校のHP等により情報公開に努めており、今年度更に情報公開を進める予定である。 |
| 2 | 運営方針に沿った、事業計画が策定されているか | 4 | | |
| 3 | 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか | 4 | | |
| 4 | 人事、給与に関する規定などは整備されているか | 4 | | |
| 5 | 教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 | | |
| 6 | 教育活動などに関する情報公開が適切になされているか | 3 | | |

3.教育活動

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|----|---|----|--|--|
| 1 | 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針などが作成されているか | 4 | 「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」という教育理念のもと、すべての教職員の意識統一がなされている。美容師免許取得は当然の事とし、社会に出て即、役に立つ人材の育成に努めている。 | 昨年度の課題の外部関係者からの評価の部分では、関係者評価をさせていただき意見、評価を取り入れることができている。また選択科目では外部サロンのスタイリストに来ていただき直接、学生に指導していただくカリキュラムも導入し、学生の技術向上、外部との連携の強化になった。 |
| 2 | 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 | | |
| 3 | カリキュラムは体系的に編成されているか | 4 | | |
| 4 | 美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか | 4 | | |
| 5 | 美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか | 4 | | |
| 6 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | 授業評価については学生にアンケートを実地しており内容によっては見直しを行い教職員の意識向上、学生の満足度向上に努めている。 | |
| 7 | 職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか | 3 | 外部関係者からの意見は柔軟に取り入れ、その都度検討し必要と判断する内容などは採用するようにしている。 | |
| 8 | 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か | 4 | 成績評価については3学期制をとっており、学期ごとに試験を行い各教科・科目の評価、欠席日数管理をし、進級・卒業判定は明確に定めている。 | |
| 9 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか | 4 | 美容師国家資格取得は全学生の当然の目標である。その他、各資格については希望者対象に選択科目や検定対策を行い全員合格を目指している。 | |
| 10 | 人財育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | 常勤講師についてはキャリアが多彩で本校のカリキュラムに適した能力を備えた人材を確保しており、その他非常勤講師においても技術や学科のさまざまな各専門分野のプロの講師を採用している。 | |
| 11 | 美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか | 4 | 教職員の指導力や能力開発のための研修会や講習は定期的に実地している。 | |
| 12 | 職員の能力開発のための研修は行われているか | 4 | | |

4.学習成果

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|---|---------------------------------------|----|---|--------|
| 1 | 就職率の向上はなされているか | 4 | 就職希望者の就職率はほぼ100%に近い。基本的には学生主体の就職活動である。就職担当や各担当が面談を行い、個人単位で把握し、内定までを丁寧にサポートしている。 | 特になし |
| 2 | 美容師資格の取得はなされているか | 4 | 美容師国家資格においても毎年95%を超える高い合格率である。国家試験前には対策授業を行い100%に向けて指導方法の見直しを常に行っている。 | |
| 3 | その他美容関連の資格取得はなされているか | 4 | その他の美容関連の資格については希望者対象に対策授業を行っている。 | |
| 4 | 退学率の低減が図られているか | 4 | 退学率の低減については担当が各学生の事を把握し、教職員の間でも連携をとって共有を細かく行っている。また欠席など問題点があれば学生、保護者と連絡をとり解決を図っている。 | |
| 5 | 卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか | 4 | 卒業生とのつながりは深く、同窓会や各行事などに呼びかけ常に把握に努めている。またキャリアマップシステムを使い学校からの情報を速やかに共有していけるようにすすめている。 | |
| 6 | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 | | |

5. 学生支援

| 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|-----------------------------|----|--|---|
| 1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 就職部が主となり1年生のうちから就職にむけての授業などをとりいれ、2年に進級後は各担任との面談を行い個人の進路について指導している。個人個人の相談に関しては各クラスの担任や学年主任だけではなく教職員全員で適宜うけている。 | <p>生活環境や経済的支援体制については今後の課題である。健康管理の面においては健康診断のほかにクラスでの指導を強化していく。</p> <p>入学生の9割強が新卒生のため、社会人対象の入試や制度等は特別設けておらず、社会人のニーズを踏まえた教育環境は未熟なところがある。しかし社会人、新卒生平等に受け入れをしており、教育も等しくしている。</p> |
| 2 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | | |
| 3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3 | 経済的支援体制については日本学生支援機構奨学金制度、国の教育ローン制度のほかに、本校独自の授業料免除特待生制度も設けており支援を実施している。 | |
| 4 学生の健康管理の支援体制は整備されているか | 3 | 健康管理については年一回の健康診断を行っている。 | |
| 5 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 | 本校の課外活動とは外部のコンテストなどが主であり、技術指導や引率等の支援体制は充実している。また、レクリエーションや体育祭など行っている。 | |
| 6 学生の生活環境への支援体制はあるか | 3 | 生活環境の支援については提携している不動産会社より学生マンションの紹介を行い遠方の学生の支援体制としている。 | |
| 7 保護者と適切に連携しているか | 4 | 保護者には学期末成績表の送付をはじめ、年間行事予定表などの案内をその都度通知している。また、欠席が目立って多くなるなどの場合、保護者との面談を行っている。 | |
| 8 卒業への支援体制はあるか | 4 | 卒業に向けての単位取得、校内実技試験、校内筆記試験において不足が認められた場合は補習という形をとり、補い、卒業に向けて対応している。 | |
| 9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 2 | | |

6.教育環境

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|---|---|----|--|--|
| 1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか | 4 | 施設・設備は学習環境に影響がないように学生や教員の意見を取り入れ、整備をしている。 | 昨年度より改善されたが、新しく行った取り組みを更なるブラシアップが課題と考える。 |
| 2 | 学校外の実務実習、インターンシップ、海外研修などの実施の体制は整備されているか | 3 | 学外研修サロンでの実務実習を恒常的に行い、コンテスト等にも意欲的に参加し結果を残している。また海外への研修も今年度ブラシアップされ改善された。インターンシップ等は教育内容の平均化を鑑み取り入れていないが、研修サロンで『サロンゼミ』を補填を行う予定となっている。 | |
| 3 | 防災に対する体制は整備されているか | 3 | 防災に関しても、新しく消防士による教員に対しての防災訓練を予定している。 | |

7.学生募集

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|---|-----------------------------|----|--|---|
| 1 | 学生募集活動は適正に行われているか | 4 | 入学案内書及び募集要項を毎年作成し、月2回はオープンキャンパスを開催し募集を行っている。 | 学校理念・コンセプト・教育成果などを積極的に伝えており、大半の学生が入学後のアンケートでもギャップを感じていないが、昨年度同様一部説明不足が原因なのか入学前のイメージと乖離が起きている。 |
| 2 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか | 3 | HPでの紹介、オープンキャンパス等での学校説明により、教育成果を正確に伝えるよう努めている。また、高校生自身が主体的に自分で考え選んで進路を決定できるよう声かけ等、徹底させている。 | |
| 3 | 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか | 4 | 入学者のアンケート結果では、学校の決め手として「カリキュラムや教育内容」の項目が非常に多く、高校生に独自性が伝わっているのではないと思われる。入学選考はAO入試・推薦入試、一般入試を行い、面談官に対してはアドミッションポリシーの共有や、採点ポイント等の共有などを毎年行っている適正・公平を保っている。 | |
| 4 | 学納金は妥当なものになっているか | 4 | 学費は妥当なものと考えている。また、募集要項に記載されている学費以外は極力かからないようにしている。 | |

8. 財務

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|---|--------------------------|----|----------------------|------------------------------|
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか | 4 | 監査法人による監査を適正に実施している。 | 財務情報公開に関しても今年度更なる透明化を予定している。 |
| 2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | | |
| 3 | 財務に関する会計監査は適正に行われているか | 4 | | |
| 4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 3 | | |

9. 法令などの遵守

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|---|--------------------------------|----|---|---|
| 2 | 法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 美容師法、専門学校設置基準に基づいて、適正に運営を行っている。個人情報に対しては、十分に注意し、教職員はもちろん学生にも指導している。 | 昨年度自己評価、関係者評価の公表を行い引き続き公表を続けると共にすべてではないが昨年挙げられた問題点に対して改善に取り組んだ。 |
| 3 | 個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか | 4 | | |
| 4 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3 | | |
| 5 | 自己評価を公開しているか | 4 | | |
| 1 | 評価項目 | | | |

10. 国際交流

| | 評価項目 | 採点 | 現状 | 課題・改善案 |
|---|---------------------------|----|---|--|
| 1 | 留学生の受け入れ派遣について戦略を持っているか | 1 | 留学生の受け入れや派遣は美容師としての就職先が安定されないため意欲的に実施していない。 | 海外研修や校費留学、姉妹校の影響からか毎年数名ではあるが海外就職者がいる。サポートはまだまだ不十分と感じるが、海外の就職や求人に対しての説明会等を行い改善を図っている。 |
| 2 | 学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか | 3 | 1985年以降30年フランス国立のリセ・エルザ・ルモニエと姉妹校提携しており、学園として交流を行い、国を超えた取り組みを行っている。また、イギリスサスーンアカデミーへの校費留学でのディプロマの取得や、ファッションウィークでのバックヤード研修なども行っている。 | |